

有田川町議会広報 かわら版

第59号

令和2年11月発行

QRコードから
議会の情報
をご覧ください



有田川町議会 検索



●発行／有田川町議会 ●発行責任者／議長 森谷 信哉 ●編集／広報広聴常任委員会 ●印刷／協栄印刷

〒643-0021 和歌山県有田郡有田川町大字下津野2018番地4 TEL：0737-22-3294(議会事務局) FAX：0737-52-2198

コロナに負けないまちづくり

令和2年第3回定例会（9月議会）の一般質問は、9月10日と11日の2日間行われ、11人の議員が質問台に立ちました。

6月議会に引き続き、今回も新型コロナウイルス対策に関連した質問が目立ちました。いま世界では、大規模な森林伐採などで環境破壊が進み、動物が持っていたウイルスをもとにして、この30年間で30種類の新しい感染症が生まれたと厚生労働省は報告しています。

こうした自然環境の変化に対する危機感から、各議員の質問は「倒木」「獣害」「河川整備」「環境」「防災対策」「住みたくなるまち」など多彩な内容となりました。各議員の指摘した点を町がしっかりと受け止め、実践していくことが『町民が安心して暮らせるまちづくり』につながっていくと確信しています。

一 般 質 問

殿 井 堯	認可地縁団体の登記の特例は	P 3
佐々木 裕 哲	皆が住みたいまちづくりをめざして	P 4
椿 原 竜 二	社会経済活動の回復に向けて	P 5
星 田 仁 志	携帯電話不感地域の解消を	P 6
岡 省 吾	風倒木撤去の方向性は	P 7
中 島 詳 裕	鳥獣害対策のさらなる強化を	P 8
林 宣 男	河川の現状と整備計画は	P 9
片 畑 進 之	新型コロナウイルス感染症の予防対策は	P 10
小 林 英 世	環境美化の強化へ	P 11
増 谷 憲	新型コロナウイルス対策に万全を	P 12
堀 江 眞智子	感染症が発生した場合の消毒は	P 13

（おもな質問項目を掲載しています）

次回、令和2年第4回定例会の一般質問は、12月10日、11日を予定しています。



殿井 堯

認可地縁団体の登記の特例は

国庫補助金交付のあり方は

問 事業における国庫補助金の交付は年度末になる。事業が早期に

答 地方自治法等の改正で特例が設けられたことは把握している。今後、各区にも周知をしていく。

完了し、事業者から町へ請求がきた場合、補助金がまだ入っていないのに町が一時的に補助金を立て替えた格好になる。このための養鶏組合への補助金支出は違法でないのか。

答 町民などへ補助金を交付する場合、町は補助金交付規則や各事業の補助金交付要綱に基づいて交付する。国の補助金の場合、その事業が完了し、町が申請者に補助金を支払った後に国へ実績報告書を提出し、承認後に国から補助金が交付される。そのため事業が早く



祇園社（祇園さん）

問 地方紙や議会広報の掲載記事は間違っているのではないか。

答 地方紙には説明をして理解を得た。議会広報の記事は質問にきちんと答弁できていなかったため誤解を招いた。

問 補助金の返還が求められているのでは。

答 補助金の目的は農業経営の維持である。補助事業を実施した年度内に経営をやめた場合、補助効果が認められず、交付決定が取り消され、すでに受け取っていた場合は返還することになる。

問 現在の状況はどうか。

答 弁護士の指導のもと事業者に戻還請求を行っている。

問 補助金支出の改善が必要ではないか。

答 申請者の詳細まで把握できないので、今後は県などと情報を共有していく。

今後の大きな事業計画はどうか

問 水道事務所移転改築はどうなるか。

答 基本設計をした。令和3年度から8年度で事業実施予定。

問 雨水などの排水計画はどうか。また農業集落排水事業との統合は進めるのか。

答 汚水事業が完了した時点で財政状況や接続率を見て検討していく。

問 破産宣告されると債権の優先順位はどうか。

答 財団債権が優先。県の行政代執行となる。次に労働債権となる。そして町補助金の返還となる。

皆が住みたい まちづくりをめざして



佐々木 裕哲

問 吉備地区内における過去10年間のおもな人口・世帯数増加地区は。

答 新築家屋への直近3カ年の一戸あたりの平均軽減額5万5千円の2年分を根拠とした。対象者は、新築2年間の固定資産税相当額が支給されることになる。

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が、合計6億2千5百万円交付され、各課で幅広く事業を実施する。税務課は定住人口を増やすため、新築世帯へ11万円の助成金を計画している。金額の根拠は何か。

問 新築し定住された方々に理由を聞くと、吉備地区は交通の便が良く、インフラが整備され、快適な生活ができるとの意見が多い。これも先代坂井町長(吉備町)時代から現中山町長まで「高速インター誘致」「道路整備」「藤並駅新築」「特急停車」「公共下水道」などが、吉備地区の発展につながったと思うがどう認識しているか。

地区	増加人口	増加世帯数
下津野	502人	287世帯
天満	240人	123世帯
水尻	234人	158世帯
野田	174人	77世帯
奥	72人	42世帯
旧吉備町全体	987人	1106世帯

答 左表のとおり。



人口が増え続けている吉備地区

答 人口が増えてくれることはうれしい。情報誌が調査した全国の移住先ランキングでは、近畿地区227市町村中、有田川町が15番目と紹介されている。これは県内で本町だけである。今後も、若人が住めるようなまちづくりをめざす。

手話奉仕員 養成研修事業

問 手話奉仕員養成研修事業は、障害者総合支援法に基づく国が定めた必須事業である。県下30市町村のうち、実行されていない中に

有田郡市(1市3町)ほか6町があるが、早急に取り組むべきではないか。
答 有田川町ではこどもクラス、初心者クラス、ステップアップクラスの3講座(年間各23回)実施している。本町の講習会は奉仕員養成研修と同様な位置づけととらえている。今後は、有田郡市で開催について検討していく。





樺原 竜二

社会経済活動の回復に向けて

問 「有田川町緊急持続化給付金」は予算額に対し、約35%程度しか執行ができていない。申請に間に合わなかったなどの声も聞く。国の「持続化給付金」や、県の「事業継続支援金」が対象で、「有田川町緊急持続化給付金」の支給が受けられなかった事業者は、同等の対応策を講じるべきではないか。

答 当面の間は9月1日より開始した「事業継続応援補助金」にて支援を行う。対象期間が切れる年明けから2月末を目安に経済対策を検討したい。

問 全町民に1万円分が配布された「有田川町応援クーポン」。現時点での実績は。

答 8月末で換金率が約50%である。

問 町内に大きな経済効果をもたらしている。第2弾実施の考えは。

答 前回と同じようにはいかないかもしれないが、年明けから2月末を目安に検討したい。

問 新型コロナウイルスを正しく恐れながら、感染対策を徹底していくと同時に、社会経済活動を回復させていかなければいけないと考えるが見解は。

答 「ウイズコロナ」の社会で、規制要件も緩和されていくと思う。感染症対策と社会経済活動の回復を両立できるような方策を考えたい。

コロナ禍における避難所運営は



避難所運営訓練 (8月23日)

問 避難所の新型コロナウイルス感染症対策は。

答 各避難所受付にて、検温および評価シートで健康者と有症状者の振り分けを行う。避難者はマスクを着用、アルコールによる手指消毒、パーティションなどによる世帯ごとの分離、1時間に10分程度の換気などを考えている。

問 対策を講じた場合、避難所受入可能人数は。

答 従来の収容可能人数の3分の1から4分の1となる。

問 受入可能人数を超えた場合どうするのか。

答 指定避難所以外の公共施設を臨時避難所として開設する。



世帯ごとのプライベートルーム

問 発熱している方や、感染が疑われる方への対応は。

答 世帯ごとにテントを設置し、有症状者を完全に分離し、保健所の指示に従う。小規模な避難所で、動線を分けられない場合、設備の整った避難所へ移動してもらう。

問 今までの避難グッズのほか、どのようなものを持参するように呼びかけているか。

答 感染症対策用品として、マスク・消毒液・体温計などを持参してもらうよう広報などで周知をしている。

携帯電話不感地域の解消を



星田 仁志

問 前回の質問から1年9カ月が経過しているが、現在、不感地域は何力所か。解消に向けて町の取り組みは。

答 町内にどの携帯電話社もつながらない不感地域は7地区・8カ所ある。いまだに町内全域の解消には至っていないのが現状である。民間事業者の採算性もあり、非常に難しいが、今後も県を通じ要望していく。

意見 徐々に解消してきていると思うが、不感地域に住んでおられる方たちの気持ちや思いをくみ取り、強く県に要望していただきたい。



防犯灯設置が求められる町道徳田堤防線

鉄道公園横の町道に防犯灯の設置を

問 鉄道公園から金屋橋までの町道徳田堤防線で、鉄道交流館東側から有田鉄道までの間が暗く、通行に支障が生じているので、早急に防犯灯の設置が必要ではないか。

答 改善しているが、明るさが不足しているのは把握している。明るさを確保するには、道路北側（川側）に設置することが最善の策と考えている。下徳田区から町に道

路占用許可申請書を提出していただき、区で設置してもらいたい。

問 当初、この場所は鉄道公園の延長だと考え、担当課と協議した。堤防敷きなので設置は難しいとのことであった。町が設置してくれるという前提で最善の方法を考えてほしいと頼んでいた。

下徳田区で設置しなければならぬとは聞いていない。どう対応するのか。

答 鉄道公園側に設置できるように、現地を確認のうえ、対処していきたい。

きび森の保育所の現状は

問 子どもは外で元気に遊ぶのが大事だと考えるが、きび森の保育所には遊具が少ない。日頃から鉄棒などの遊具に慣れ親しんでいると、自然と体力向上にもつながるものと考えるので、遊具を設置してはどうか。

答 体力テストの結果に差異はないが、今後とも体力テストの分析に注視し、遊具の設置を考える。



移動式鉄棒（きび体育館2階）

問 生活発表会は遊戯室兼用のランチルームで行っているが、クラス別に保護者の入れ替えや準備のたびに移動用の舞台をセットしなければならぬ。

隣に「きび体育館」があるのに、なぜ利用しないのかという保護者の声がある。どのようになっているのか。

答 どちらもメリットがあると考えるが、子どもたちにとって、よりよい発表会になるように、保護者とも話し合いながら熟慮する。



岡 省 吾

風倒木撤去の方向性は

問 2年前の台風で山林に放置されたままの風倒木。二次災害防止の観点から早期の撤去に関して町の認識と今後の取り組みはどうか。

答 二次災害を危惧し、早く解消したいと思っている。復旧事業の活用が可能な箇所から順次対応を進めている。復旧に向けての課題として、森林所有者の特定と意向確認。安全面を担保するため施工方法や作業の検討。

実施中、道路通行止めへの地域協力体制が必要。事業によつては、採択要件を満たすために被害箇所を含む広範囲を保安林に指定する



— 昨年の台風21号による倒木被害

問 山林所有者の承諾を得て、保安林指定とした場合のメリット・デメリットは。

答 水源確保や山崩れなどの災害を防止するため、伐採や土地の形質の変更などを制限して、適切な森林管理を

必要があり、合意形成を図らなければならぬ。今後とも、被害箇所の復旧に係る問題解決に向け、関係者一丸となり取り組んでいく。

問 保安林指定することにより、森林整備事業の際、山林所有者の負担が軽減される有利な点がある。復旧事業

するのが保安林制度である。メリットとして、荒廃森林での治山事業による森林整備事業ができる。

デメリットとして、立木伐採などの際、県知事の許可が必要となってくる。

を進めていく中で、受益者負担が解消されれば円滑に事業展開できるものと期待する。

保安林制度を広く関係者に周知し、認識を深めてもらうために勉強会などを開いてはどうか。

答 地域から要望があれば勉強会を開催したい。

問 搬出した風倒木を、木質バイオマス発電の燃料として活用できないのか。

答 工事で搬出された風倒木は、法律上、産業廃棄物となるため、バイオマス発電には利用できない。

コロナ禍における成人式のあり方は

問 来年初旬の成人式をどうするのか。

答 「3密」を回避するため、十分な間隔が

とれる吉備中学校体育館で開催する予定である。また、感染防止対策に万全を期して実施する。

問 民法改正により、令和4年度から「成年年齢」が従来の20歳から18歳に引き下げられる。この先の成人式対象年齢をどう考えているか。

答 近隣市町と歩調を合わせ、成年年齢が18歳に引き下げられても、成人式は、対象年齢を20歳としていく。



昨年度の成人式

鳥獣害対策のさらなる強化を



中島 詳裕



問 鳥獣被害防止計画が作成され、増加傾向にある被害額を3力年で減少させる目標を立てているがどのような取り組みをするのか。

答 防護柵設置支援事業の推進、猟友会による駆除活動、地域全体で対策に取り組む研究会や啓発活動を行う。

問 防護柵設置事業の補助率、限度額の見直しは検討できないか。

答 実績を見ながら今後、検討していく。

問 本猟期の終了日以降、引き続き有害駆除期間として実施できないか。

答 猟友会とも協議し期間を延長するよう検討する。

問 今年度捕獲報償費を改正した理由は。

答 わな猟と銃猟の報告で紛らわしい報告を防止するため、猟友会の分会長などと協議し報償費を統一した。

問 今回の改正で銃猟の報償費を引き下げたが、再検討する考えはないか。

答 今後、近隣市町の状況を踏まえ協議していく。

問 遊休農地が原野化し鳥獣の巣窟になっている。「中山間地域等直接支払制度」などを活用し、被害防止の取り組みができないか。

答 各集落の代表者に鳥獣被害防止活動を共同取り組みの重点とするよう働きかける。

問 クマなどへの対応はどうか。

答 関係機関との連携をより密にし、迅速な対応ができるよう努める。

意見 防止計画を着実に実行するには総合的な取り組みと予算の確保が重要だ。ぜひ検討されたい。

地域で元気に暮らせるように

問 介護保険事業の現状と取り組みは。

答 また、次期計画で重点的に取り組む課題は。

答 事業は2年連続赤字で順調だ。基金も1億9400万円となった。次期計画では、「住み慣れた地域で年をとっても元気で暮らせるよう」介護予防事業に重点を置きたい。

問 今後、団塊の世代の推移と介護保険料は。また、公費投入の検討は。

答 第1号被保険者数、介護認定者数は今後も大きな変動はないと見込み、保険料は現状を維持したい。また、公費投入は考えていない。

問 清水地域での介護予防事業は。

答 安諦地区で10月より新たな緩和型通所デイサービスが始まる。社会福祉協議会とも連携し地域福祉事業と合わせ展開したい。

意見 地域での事業の広まりに期待するが、事業展開で一番の課題は移動手段だ。地域福祉の一環ととらえ、予算の確保に努められたい。



いきいき百歳体操



林 宣 男

河川の現状と整備計画は

問 吉備地域を流れる3本の2級河川、特に鳥尾川は最近、下津野地区に住宅が増えてい
るため、川の水位が急
激に増加する。
対策はないか。

答 今年度は720³mの堆積土砂を撤去し、延長180m区間で雑木伐採を行う予定である。

問 鳥尾川の右岸は傷みがひどく大変危険な状態になっているが対策は。

答 堤防の上の土羽にコンクリートを張るよう要望している。



改修が必要な鳥尾川

問 天満川は豪雨時の増水が著しい。草刈りだけでもやっていただけ
ないか。

答 また、有田川
センター付近も河川敷が雑木林になっている。何とかならないか。

答 天満川は確かに草木が生い茂っている。伐採をしてくれるよう
県に要望する。

有田川は「有田川河川整備計画」に沿って下流側から順次改修している。

老人クラブの 提出書類簡素化を

問 現在、日本は超高齢化社会である。

答 老人クラブはスポーツや趣味の会など、生きがいがづくり・寝たきり防止など有意義な老後を送るうえで、不可欠な団体である。

しかし、近年老人クラブの解散が目立っている。
その原因の一つとし

て8種類の提出書類や補助金関係の事務作業などの煩わしさが考えられる。

答 補助金は町と県から出しているため、県の指導に沿って事務処理をしている。
提出書類は負担にならないよう社会福祉協議会が手伝いする。

問 現在の老人クラブ数と会員数は、10年前と比較してどうなっているか。

答 現在クラブ数は65団体で会員数は3467名である。10年前はクラブ数が86団体で会員数が5655名である。

意見 老人クラブを脱退すると老人クラブが主催するグラウンドゴルフ大会、演芸大会に参加することができない。高齢者の健康寿命を延ばすには、「健康・友愛・奉仕」を活動目的とした老人クラブの活動を支援することが重要と考える。



老人クラブ主催のグラウンドゴルフ大会

新型コロナウイルス感染症の 予防対策は



片畑 進之

問 町民や町関係者の感染対策と啓発は。

答 県内の感染は小康状態。町民には、町広報などを活用し、新しい生活様式で感染防止を啓発する。窓口業務はパネル設置や消毒で感染防止を行う。町職員も新しい生活様式で感染対策を実施している。

問 町民や町職員が感染した時の入院治療費は。

答 町民が感染した時の入院費用は県事業で全額公費負担となり町職員も同じである。



パーテーションで仕切られた窓口

問 町職員の入院時の勤務扱いは。

答 町職員が感染したときは、特別休暇扱いとする。

問 救急出動の隊員や患者搬送の感染対策は。

答 「感染症の患者の移送の手引き」や消防庁通知に基づき対応。119番通報時に発熱や、呼吸器症状を確認。

感染の疑いがあるときは、N95マスク・密閉ゴーグル・感染防止

衣上下・プラ手袋を装着し対応する。また、移送患者はサージカルマスクを着用して搬送する。搬送後は、救急車と機材を、エタノール・次亜塩素酸ナトリウム・オゾンガスなどで消毒する。

問 保育所、小中学校の運動会や遠足、修学旅行の予定は。

答 運動会や遠足は、各学校が創意工夫し実施の方向である。修学旅行は県内1泊で行う予定である。

問 入学式・卒業式の来賓参加は。

答 考慮していく。

問 スクールバスの感染対策は。

答 人数制限とバスの消毒で対応する。

問 介護施設の予防措置は。

答 県の「新型コロナウイルス感染症緊急包



感染防止衣を着た救急隊員

「括支援事業」を受け対策を行う。

問 成人式など各種行事の開催は。

答 来年の成人式は吉備中学校体育館で行う予定である。

そのほかの各種行事も人数を制限しながら実施していく。

問 来年度の敬老会開催の有無はいつ決定するのか。

答 新型コロナウイルス感染症状況を考慮し、2月頃に決定したい。

問 敬老会委託金は制約がある。補助金で支給し、各区自由開催にしてはどうか。

答 委託金を補助金で支給することは区長会と相談のうえで検討していく。



小林 英世

環境美化の強化へ

問 家庭ゴミの推移はどうか。

答 ゴミ総量の変動はほとんどない。一人あたりの粗大ゴミは増加しているが、原因は空き家の撤去や災害ゴミに関するもの。

問 町はゴミの減量化を呼び掛けているが、その効果はどうか。

答 目に見えた減量は確認できていない。しかし、一人あたりの生活ゴミの量は県下で2番目に少ない。町民の皆さんが減らせるだけ減らし、限界に近づいているのではないかと。

問 プラゴミ再利用の状況は。

答 年間回収量は300トン。96トンはマテリアルリサイクル（モノへの再生）。それ以外の204トンはサーマルリサイクル（燃焼させて熱などに利用する）している。



プラスチックゴミ収集場

問 プラゴミは燃やせないのか。

答 今の環境センターでは燃やせない。将来、新しい施設をつくるときに検討したい。

問 ふるさと見守り隊は啓発を兼ねてゴミの回収を行ってこれている。昨年度の実績はどうか。

答 月曜と火曜で延べ39人。回収ゴミは524kgで、処理費26万円。

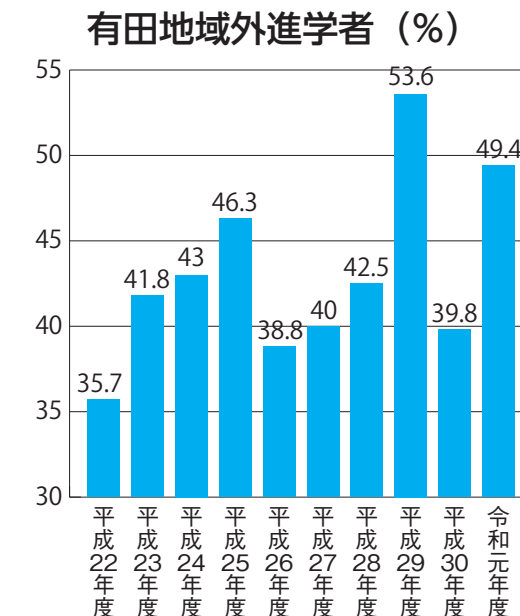
問 県が10月から完全施行する「和歌山県ごみ散乱防止に関する条

例」では環境監視員を配置し、パトロールなどでゴミを捨てる行為を発見した場合、回収命令を出す。従わないときはその場で過料徴収を行う。町民にどのように伝えるのか。

答 町広報10月号に掲載する。

問 県が厳しい条例をつくっても、町が以前と変わらない取り組みでは効果は期待できない。今後の対応はどうするのか。

答 監視カメラの有効利用。また、重点地区は把握しているので、県の環境指導員と連携しながら対応する。



有田2校に

なるのか

問 8月に「きのくに教育審議会」が答申を出した。

内容は15年間で県立高校を3分の2に減らす計画だ。

問 本町から有田地域以外に進学する中学生も多い。しかし、有田中央高校存続の要望も多い。

答 有田中央高校については、さらなる魅力づくりを支援していきたい。関係者の協力を得ながら、何とか残せるように要望する。

新型コロナウイルス 対策に万全を



増谷 憲

問 町単独「緊急持続化給付金」の延長、有田川町応援クーポンの再度実施は。

答 9月1日からの「事業継続応援補助金」で支援を行う。また、応援クーポンの期限がくる2月末を目安に、必要に応じ対策を検討する。

問 橋本市では、市内の農産物を市外に送付する場合は送料を補助している。

答 本町でも取り入れてはどうか。橋本市の実績を見て検討していきたい。



ウンカ被害を受けた水田

問 20人学級は実施できないか。

答 教職員の増員もいるが、校舎の建設が必要で国の支援を求めたい。

問 PCRセンターを設置してはどうか。

答 湯浅保健所で検討中なので要望していく。

問 医療や介護従事者への慰労金は、感染者の有無で差がある。解消できないか。

答 県と協議したい。

問 稲がウンカにより、大変な被害となっている。対策はどうか。

答 ウンカ被害の対策を考えたい。

問 避難所はコロナ対応になっているか。

防災対策は しっかりと

問 産科医の確保はどうか。

答 医師派遣を要望していく。

問 産科医の確保はどうか。

答 医師派遣を要望していく。

産科医など 医療の充実を

問 有田市立病院が産科医確保のために医師紹介会社に費用を払っている。広域的に費用の負担ができないか。

答 3町で費用負担できないか検討したい。



建設中の風力発電

風力発電対策を

問 新規の計画について、知事意見はどうか。

答 世帯ごとの分離や健康者と有症者の振り分けを行う。避難者が多くなれば他の公共施設も活用する。

問 計画も含め30kmにわたり88基の風車が建つことになる。

答 意見書では「動植物に重大な影響を及ぼし、住環境や景観への影響があると指摘している。守るべき自然環境の維持や環境への影響が低減できなければ、廃止を含めた厳しい見直し」となっている。

問 放置倒木対策はどうか。

答 緊急な場合は県単独の間伐事業を利用できる。

問 建設中の風力発電の周辺住民へ医師を派遣して健康調査をしてはどうか。

答 特定地域だけを回る考えはない。また健診センターとの調整も必要になる。



堀江 眞智子

感染症が 発生した場合の消毒は



問 感染症が発生した場合の消毒はどのような対応するのか。

答 町施設については、町が責任をもって消毒にあたりたい。学校や保育所は、施設関係者と教育委員会職員で消毒する。消毒のための防護服や器具は、教育委員会に用意している。

問 消毒による感染リスクはどうか。

答 感染リスクはないものと考ええる。

保育所の 休所措置は

問 保育所の職員や乳幼児が新型コロナウイルスに感染した場合、保育所は臨時休所となる。家庭で子どもを見ることができない場合の保育についてどう考えているのか。

また、休所措置の場合、保護者への連絡方法と保育料の返還をどう

う考えているのか。

答 感染が判明すれば、感染拡大予防の消毒などのために保育所は臨時休所とする。保護者への周知徹底の方法は、現時点では電話連絡。できるだけ早い時期にメールなどで連絡できるような取り組み。

休所となった場合の保育料は、日割り計算して還付する。



大学生への 支援は

問 コロナ禍で苦しんでいる大学生に対する町独自の経済支援を考へるべきではないか。

答 ほとんどの大学で対面授業を控え、今もリモートでの授業が主流と聞いている。

また、アルバイト収入が減少し、授業料を払えない学生もいると聞く。

政府は、所得などに応じ「学生支援緊急給付金」を支給している。また、世帯収入など一定の要件を満たす学生を対象に、授業料の減免や給付型奨学金の支給も行っている。

医療機関および介護保険施設の従業員への町からの費用助成は考えていない。

インフルエンザ 予防接種補助の拡大

これらを有効に活用していただきたい。

問 インフルエンザの予防接種を、学校・保育関係者および医療・介護従事者全員が受けられるような予算措置を講じてはどうか。

答 学校および保育所の関係者には、インフルエンザ予防接種の補助金が出ている。これを活用しての接種を勧める。



一般会計補正予算 2億3552万2千円

小中学生の双方向授業を見据え 情報端末機を購入！

令和2年第3回定例会は、9月2日から17日までの日程で開催し、本定例会に提案されたすべての議案は、原案の通り全員一致で可決しました。なお、令和元年度一般会計決算なら

びに各特別会計決算も上程されましたが、水道事業会計決算以外の決算認定については休会中に決算審査特別委員会で審査し、12月定例会において採決します。

(単位：万円)

項目	金額	おもな事業内容
総務費	集会所等改修補助金	203 沼田集会所のトイレ改修工事
民生費	修繕料	350 藤並老人憩いの家を福祉的避難所に活用するための修繕
	高齢者生活支援給付金	1306 敬老会中止に伴い、対象者に2000円を配布
	消耗品費	160 感染予防として町内保育所に消毒液などを購入
衛生費	ゴミ置場設置補助金	278 5カ所(明王寺・天満・水尻・北筋・松原)のゴミ置場修繕・新規設置
農林水産業費	新型コロナウイルス感染症検査費用補助金	495 コロナ感染拡大を防止するため、県外からの援農者等に医療機関でPCR検査を受けさせた雇用主に対する助成
	農村地域防災減災事業	1600 池に沿う通学路において、転落防止柵を設置
	緊急自然災害防止対策事業	1500 法面災害復旧工事(久野原)
	公共施設等適正管理推進事業	800 上新田(清水)揚水機の改修
教育費	備品購入費	63 スクールバス内を消毒するためにオゾン発生器を2台購入
災害復旧費	林道災害復旧事業	5000 林道沼谷線・峠上二澤線の災害復旧工事



栗生の巖周辺トイレ

議案質疑

問 休校中の白馬中学校に追加予算が計上されている。通信制の学校が活用する予定だったが、内容はどうか。

答 校舎の貸し出しを予定している南陵高校の理事長が交代し、契約が遅れている。契約できるまでの光熱費を町が負担する。

問 二川ダム公園、栗生の巖周辺トイレはどのような修繕か。

答 二川ダム公園はトイレブースをメラミン樹脂化粧板に張り替える。

栗生の巖周辺トイレは、耐水の合板扉に変える。

問 栗生のトイレ周辺は草刈りもできていない。維持管理はどこがしているのか。

答 産業振興部内である。草刈りは早急に対処する。



乗車体験も好評なキハ58

問 鉄道公園のキハ気動車の修繕内容は。
答 窓ガラスのゴムを交換する。

問 鉄道公園のメインはキハ気動車とSLだ。今後、この2台はどうなるのか。
答 キハ気動車はディーゼル機関車を接続して走らせる。SLは10月末に新潟へ搬出すると聞いている。

問 現在、走らせることが出来る車輛は何台か。
答 5台である。



問 ドローンの総台数はどうか。
答 総務課で1台、清水平防署で1台、環境衛生課で通常のドローン1台と200グラム未満のトイドローンが2台ある。

問 事故などに備えて保険に入っている台数はどうか。
答 本体の保険には加入していない。

問 今後、事故のことを考えて保険に加入される予定か。
答 今後、検討していく。

問 なかむら内科クリニックの建物は町所有と聞いている。
 今回、漏水修繕の予算化だが、町との間で施設を使用する契約を結んでいるか。また賃料をとっているか。
答 なかむら内科クリニックとは賃貸契約を結んでいる。賃料は月3万円である。

問 スクールバスの除菌にオゾン発生器2台をどのように使うのか。
答 現在、金屋で8コース、清水で6コース、運行している。事前に運行会社と十分協議して消毒したい。ただ、金屋、清水コースとも

問 1日1台だと8台で8日間サイクルですか回らない。1日2回すれば4日間サイクルとなるが複数回の除菌は難しいか。
答 運行会社と相談したい。また、状況を見て必要であればさらにオゾン発生器を購入したい。

1台ずつなので毎日全車両の消毒にならないが、実施して様子を見たい。

問 1日何台消毒していくのか。
答 文部科学省の指示では、よく触るところを消毒するとなっている。とりあえず1日1台でやってみる。

意見 台数を増やすのも手であるが、1台であれば午前、午後各1台やっていただき、できるだけ短いサイクルで回してもらえよう要望しておく。

財産の取得
 ○小中学校
 情報端末機の購入
 1億1045万
 9718円
 ○小型動力ポンプ付積載車(2台)の購入
 795万3千円



今回より挙手による表決も

町議会規則の一部改正
 ○会議規則の一部改正
 表決の方法として、起立のほかに挙手を選挙できるように改めた。

条例の一部改正
 ○印鑑条例の一部改正

意見書の提出
 ○防災・減災、国土強靱化対策と地域経済復興に向けた社会資本整備のさらなる推進を求め意見書の提出
 提出先…衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、内閣官房長官、国土強靱化担当大臣、防災担当大臣

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出
 提出先…衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣

新型コロナウイルス対策などで 臨時議会を開催！

国の新型コロナ対策2次補正予算成立を受け、7月29日に臨時議会を開催。
新型コロナウイルス感染症の予防対策および令和2年7月3日から9日の梅雨前線豪雨による
災害復旧事業など、5億9080万円の予算を可決。

給付・助成・補助金

(単位：万円)

項目	金額	おもな内容
特別出産給付金	2300	子どもを出産する世帯に対し、対象児1人につき10万円を給付（R2年4月28日からR3年3月31日までの出生児対象）
重度障害者等生活支援金	1500	重度障害者等に対する生活支援金（対象者1人につき2万円）
有田川町すまい給付金	1892	町内で新築されて居住する方に対し、11万円を給付（R2年1月1日からR3年3月31日まで新築世帯主へ）
高齢者インフルエンザ予防接種費用助成金	903	予防接種自己負担額に1人1300円を助成する
団体旅行等移動補助金	1000	貸し切りバスまたはジャンボタクシー借りに係る費用の2分の1以内 上限10万円
中小企業等事業継続応援補助金	1000	新型コロナウイルス感染症の影響で売上げが減少した事業者や農業者が売上高を回復させるなどの新たな事業を実施し、事業継続を行うものに助成する
農業者事業継続応援補助金	2000	上限19万9千円
介護施設等支えるひと支援資金	210	介護施設7カ所において、面会をデジタル化するための支援 1施設に30万円の助成

改修・修繕・整備工事

(単位：万円)

項目	金額	おもな内容
議会棟会議室改修工事	335	議会棟3階を一部会議室に
金屋文化保健センター裏の倉庫改修	1000	感染症対策物品保管倉庫の整備
過剰木材在庫対策	2180	町有施設の修理などに有田川町の木材を使う
Wi-Fi環境構築業務委託料	600	テレワークやワーケーションの需要に対応できるよう観光施設にWi-Fiを設置
ライブカメラの備品購入費	93	在宅であらぎ島の風景を鑑賞できるようライブカメラを設置

子ども・社会教育に

(単位：万円)

項目	金額	おもな内容
GIGA（ギガ）スクール関連	11177	情報端末機2109台購入（1台5万3000円）
備品購入費	98	顔認証検温器の購入
感染症対策費	1450	町内13小中学校にアルコール・パーテーション・体温計・サーキュレーターなど配布

梅雨前線豪雨による災害復旧事業

(単位：万円)

項目	金額	おもな内容
農地災害復旧費	8000	畑（27件）田（3件）
農業用施設災害復旧費	2445	水路（3件）
林業用施設災害復旧費	9500	峠上二澤線など（4件）
公共土木施設災害復旧費	3110	道路（3件）河川（3件）

議案質疑

有田川町
団体旅行等
移動補助金事業

有田川町に
在住・在勤の方限定

貸切バス・貸切ジャンボタクシー（※2）で
和歌山県内を旅行すると、
バスなどの借上げ費用の半額、
最大10万円を補助します！（※3）

実施期間
2020年8月4日（火）～2021年3月31日（水）
※4月以降にまたがる旅行は対象外 ※予算上限に達し次第終了

○団体旅行等移動補助金
問 団体旅行等移動補助金について事業者からの要望はあったのか。
答 要望があったわけではない。

問 コロナ感染の終息が見えないなか、このような予算化はいいか。感染拡大が心配される。
答 行き先を県内に限定している。また、小中学校の修学旅行にも活用でき、保護者の負担軽減になると考える。ご理解いただきたい。

○ギガスクール構想
問 有害サイトへのアクセスの遮断などの設定はどうなるのか。
答 子どもが閲覧するサイトや利用するアプリなどを適切に管理できるように、ソフトを導入して万全を期す。

問 教師の指導をどのようにサポートするか。
答 全教職員が活用できるよう、端末機に詳しい教師が中心になり、研修や研さんを重ねる。

意見 教師の労働環境が厳しいなか、さらに負担にならないよう、教師任せにするのではなく、体制も含め検討してほしい。



ギガスクールタブレット（パンフレットより）

問 1日のネット使用時間のめどは。
答 3時間程度が限界と考える。

問 昨年度の慶応大学の視力調査によると小学生は近視約77%で、うち強度近視が4%。中学生は近視約94%で、うち強度近視が約11%と報告されている。スマホやタブレットの弊害について認識はどうか。
答 端末機導入で近視などの環境要因が増えないように、正しい姿勢で使用する。

問 壊れたときの対応は。
答 予備機で対応する。修理は故意でなければ公費負担で対応したい。

問 タブレット端末の納入、配備時期はいつ頃か。また、いつから使えるのか。
答 今年中に導入したい。来年1月からは学校での環境は整う。

令和2年7月3日から9日の梅雨前線豪雨による災害状況



久野原地内



林道沼谷線（ドローンで撮影）

引き続き万全なコロナ感染症対策を

—総務文教福祉常任委員会—

9月3日（木）に総務文教福祉常任委員会を開催し、福祉保健部、教育部、総務政策部からの説明ならびに付託議案の審査を行い、国に対しての依頼1件を採択し、意見書の提出を委員全員で賛成しました。

福祉保健部からの報告

○障害者就労支援 給付金

就労継続支援の福祉サービス（作業所など）を利用しての障害のある方に、就労支援として給付金を支給します。1人2万円、対象者90人を想定。

○避難所の整備

福祉的避難所として、藤並神社北側にある老人憩いの家を改修します。

教育部からの報告

○西ヶ峯小学校の休校
児童数の減少により、

惜しまれながらも休校へ。3月25日に休校式を予定しています。

○スクールバス用

オゾン発生器購入
コロナ対策として、オゾン発生器を2台購入。スクールバス内の消毒に使用します。

総務政策部からの報告

○公職選挙法の一部改正

おもな改正点は、選挙運動用自動車・ポスター・ビラなどの公費補助。供託金（15万円）制度の導入など。



西ヶ峯小学校も休校に...

観光・農林業の振興とウシカ被害調査

—産業建設住民常任委員会—

9月4日（金）産業振興部からの説明6件を議題として委員会を開催しました。また、9月11日（金）、ウシカによる稲作被害の現地調査を実施しました。

産業振興部からの説明

産業振興部長および担当課長、職員が出席。先の6件の事業について説明を受け、質疑および要望を行いました。

- しみず温泉に関する協議の進捗状況
- 地域再生 マネージャー事業
- 第5期中山間地域等 直接支払交付金
- 有田川町産材 認証システム
- 木質バイオマス 発電所事業
- 新型コロナウイルス感染症検査費用助成金

現地調査

町内各地でウシカによる稲作被害が発生しています。地域の現状を把握するため、委員会として現地調査を行い、説明を受けました。



ペーパーレス議会をめざして

—議会活性化調査特別委員会—

8月18日（火）・9月15日（火）に議会活性化調査特別委員会を開催し、ペーパーレス議会システム（タブレット端末）の導入について協議しました。

現在、全国の議会ではICT化を推進しており、すでに200以上の議会がタブレットを導入しています。

有田川町議会においても、必ずやってくるICT化を進めていくことが必要です。

議会活性化調査特別委員会では、導入を前向きに進めていくと全員一致で決まりました。

その後、全員協議会で了承のうえ、今後、導入に向け検討していくことになりました。

そのため、議会活性化調査特別委員会（10人）の中に5人程度の専門作業部会を設置することになりました。



安心・安全な飲料水を

—決算審査特別委員会—

9月8日（火）決算審査特別委員会を開催し、付託議案「令和元年度水道事業会計剰余金の処分および決算認定」について協議し、全員一致で認定することになりました。



夜間漏水調査

給水件数は6857件で前年度より115件の増加、率は対前年度比17%増加しました。給水人口は1万6422人で、昨年度から103人の増加となりました。

収支は、純利益が1億845万円の黒字となり、未処分利益などを入れると1億3678万8千円。営業利益は、3469万1千円となり、昨年度に比べて737万8千円の減少となりました。

利益剰余金は、資本金に900万円を組み入れ、建設改良積立金に1億円を積み立てます。企業償還額は3583万5千円で、未償

還残高は5億1406万5千円となりました。水道の供給単価は166円16銭、給水原価が134円93銭であるため、料金収入のみで必要経費が賅われています。

今後も、経営効率の観点から有収率を引き上げること。

また、水道使用料は公平公正な対応を図られ、安心・安全な飲料水を供給できる体制づくりには、なお一層取り組まれることを要望しました。

※令和元年度一般会計決算ならびに各特別会計決算は休会中に審査し、12月定例会で審議します。



えが おが いちばん



【町民の皆さまへ】

12月定例会は12月2日開会、一般質問は12月10日、11日に行う予定です。

ぜひ、傍聴にお越しください。

◎請願・陳情の受付

12月定例議会に請願・陳情される方は11月25日までに議会事務局まで提出してください。

詳しくは、左記、議会事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ ☎ 22-13294
吉備庁舎4階議会事務局まで

広報広聴常任委員会

- ◎ 増谷 憲
- ◎ 小林 英世
- 椿原 竜二
- 中島 詳裕
- 星田 仁志
- 岡省 吾

◎は委員長
○は副委員長

編集後記

この最終ページの写真は、金屋第一保育所の「運動あそび参観」の様子です。

緊急事態宣言解除後、「運動会は中止する」と発表されましたが、保護者の要望もあり、感染症対策を徹底しながら「運動あそび参観」が開催されました。

保護者の方々に見守られながら一生懸命がんばる子どもたちを見て、心からうれしく思いました。

これからは「自粛」ではなく、新しい生活様式「ウイズコロナ」の時代。

新型コロナウイルスを正しく恐れながら、社会経済活動を回復させていかなければなりません。

今までどおりの運動会ができない中、工夫をこらし開催されたのは、大きな第一歩だったと思っております。

(椿原 竜二)